



oct OBI Institute
お茶の水聖書学院
NEWS

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台 2-1
OCCビル3F
TEL 03-3296-1005
FAX 03-3296-4641
Email: office@obi-net.com
Web://www.obi-net.com
お茶の水聖書学院
お茶の水聖書学院後援会・同窓会

「学納金を安くします!」



学院長
藤原 導夫

それはアメリカでの出来事でした。今から数十年前、私は神学の学びのために日本からミズーリ州カンザスシティへと旅立ちました。それは、妻と幼い二人の子ども連れという無謀とも思われる企てでした。生まれて初めてのアメリカに到着し

た私たちは、まさに「右も左も分からない」状態でした。

まずアパートを確保し入居したのですが、そこにはエアコンがありませんでした。時は真夏の七月であり、

外気温は摂氏40度以上の実に異常な日々が続いていました。すると、当時五歳であった長女が発熱し衰弱し倒れてしまったのです。今で言えば熱中症だったかもしれないが、私たちは娘が死ぬかもしれないとパニック状態になりました。

そこでたどたどしい英語で救急車を呼び、近くの病院に搬送してもらいました。娘は治療を受け、何とか一命を取りとめたようで、私たちは胸をなでおろしました。しかし大困難が待ち受けていました。驚くほど高額な医療費を請求され、私たちは保険にも入っておらず、支払い能力は無く途方に暮れてしまいました。

すると私たちは看護師長室へ呼び出されたのです。私は自分が貧しい留学生であり、治療費を払えないことを訴えました。すると彼女は言いました。「事情は良く分かりました。ではこうしましょう。今回の代金はあなたがたが出来る時に支払ってください。もしいつまで経っても支払えない場合は仕方ないですが、あなた方が日本へ帰って、困った人がいたら、今日のことを思い出して、助けてあげてくださいね」と、何という驚くべき対応でしょう! その体験は私の生涯において忘れがたい思い出となり、その後の人生の指針ともなり今日に至りました。

私は今、お茶の水聖書学院の責任者として、これまで受けてきた様々な善意の負債を返したいと願っています。本学院は首都圏にある教会に

仕える超教派の信徒育成機関です。しかし、ここで学びたくても経済的理由で学ぶことのできない方々も多いことを知らされています。その方々をお助けしたいのです。

まずは本学院で学ぶために要する諸費用を出来る限り削減することに取り組みます。これまでも取り組んで来ましたが、それを来年度からさらに本格化します。聖書科の受講料は、一学期につき、90分クラス15回で総額二万三千円です。一回のクラスにつき約千五百円となりますが、それは今できるぎりぎりの価格設定です。その上で、その他の諸費用は原則カットする決断をいたしました。教会音楽科の受講料設定は少し異なりますが、基本的にはこの決定に準じています。

それでも経済的に困難である方々には奨学金制度を設けています。それは返済不要の給付型です。必要な方々は、ぜひ遠慮なく学院までお問い合わせください。

これら大胆な改革のためには財源が必要ですが、しかし私たちがそれを十分に持ち合わせているわけではありません。お茶の水聖書学院がその使命を果たしていくために皆様のお祈り、経済的ご支援もどうぞよろしくお願い申し上げます。

サマー・スクーリング

鮮明なキリスト者を 目指して



聖書科卒業生
日名富子

日頃、親戚つき合いの中で信仰の葛藤を抱えている私は、「パウロを思わせる親鸞を尊敬する日本人への宣教」という講義の標題に惹かれてスクーリングに参加しました。

二年前から『いのちのことば』で、講師の大和昌平先生の『歎異抄』と福音』の連載がスタートし、関連本を読むようになりました。

今回の研修で自分の信仰の立ち位置を確認し、道筋が示されたことを嬉しく思います。

「他の宗教を学ぶことにより、私はキリスト者だということが鮮明になる」。この言葉にもやもやしていた迷いが霧散しました。生半可な信徒が他の宗教の書物を読むことに後ろめたい思いがあつたからです。



2019年7月1日～2日 サマー・スクーリング
「日本文化とキリスト教」大和昌平先生

講義ごとに各内容に沿って芥川龍之介の小品が副教材として紹介されました。日本人の寂しさといエス・キリストには『暁』、日本人の美意識と宗教心に『蜜柑』、日本の仏教と祖先崇拜では『おぎん』を読み、小グループでの話合いと発表の時間が与えられ

ました。

『暁』は聖書に取材した戯曲で、悪魔二人がはりつけにされる「あの男」を見下ろしながらの会話です。

「素直に聖書を読んでいる」等々、受講生の方々の感想にも、作者の読解力にもため息が出ました。私はこれまで聖書の何を読んできたのだろうか…。

これらの全員参加の意見交換が伏線となり、講義の理解がより深められました。

今回学んだことを手掛かりに、参考書物にも視野を広げつつ、鮮明なキリスト者を目指して歩んでいきたいと思えます。



朝食：明るいカフェテリアで交わりとともに

教会音楽デー

賛美のちから



教会音楽科
レッスンコース
増田慶子

7月13日、第20回教会音楽デーにベアンテ・ポーマン先生が講師として来てくださいました。前半は先生のチェロの演奏でした。

一曲目の「主に向かってハレルヤ」は一音目からチェロののびやかで暖かい音色に魅了されました。私はかつてより生意気にも「賛美歌は日本語の歌詞がついたものが最良だ」と思い込んでいました（未信者の方々への証しのためという意味合からです）。

しかしポーマン先生の二曲目の演奏（初代教会の歌）に、叫びな

が祈り、神様に自分の心を百パーセント注ぎ出している祈り、まるで神様と格闘しているかのような迫力、最後は、祈り手が平安をいただいたように私に伝わってきました。

神様が私にこのような感性を与えてくださったことに驚き、うれしく思いました。



2019年7月13日 教会音楽デー
「リバイバルと賛美」
ペアンテ・ボーマン先生、るり子先生

後半は、教会史における礼拝とリバイバルについて講義をしてくださいました。

エペソ5章19節の日本語訳は「主に向って心から歌いまた賛美しなさい」ですが、英語訳では「主にあなたの心を込めて音楽を作る」、ギリシャ語では「弦楽器を

つまびく」なので、ほめたたえる時には歌のみではなく楽器を使うことも大切だと教えていただきました。「賛美歌を歌うと私たち自身と教会が建てあげられていく」という言葉に、私も歌い続けたいと思われました。

新入学生

教会音楽科総合コース に導かれて



教会音楽科
総合コース
飯田茂美

「あなたのわざを主にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画は堅く立つ」。箴言16章3節 教会の礼拝奏楽をさせていた大きながら、常々教会音楽に関わる学びの必要性を感じていま

した。

幼児教育に携わったことがきっかけで多少鍵盤楽器をさわった経験があるだけで、基礎的な音楽の学びが無いことから自分に足りなさを感じ、いつか機会があれば教会音楽を学んでみたいと思っていました。

今年に入り、先輩奏楽者の姉妹から、OBIの教会音楽科を紹介され、良い機会かと思いついて講の希望を出しました。

しかし、希望を出したものの仕事と家庭と学びのバランスがとれるか、少し心配でした。「もしこの学びが私に必要ならば与えてください」と祈りつつ、聖書を開いて与えられたのが箴言のみ言葉でした。

時間のやりくりが出来るか、体力的にも続けられるか等、戸惑いながら受講が始まりましたが、いざ始めてみると、時が過ぎるのを忘れるほど楽しく有意義な時になっています。また、この学びが講師の先生方はじめ、

受講生の方々の祈りの中で行われていることは素晴らしいことだと思われています。音楽が好きだということだけで、特に才能もなく人前で歌うことにも全く自信がない者ですが、主の導きの中でこの学びが与えられていることに心から感謝しています。

お茶の水聖書学院 教会音楽科教師による

秋のコンサート

2019年10月19日(土) 14:00~

OCC 8F チャペル

深い信仰に根差した大作曲家の曲を
オルガン、声楽、合唱によりお届けします

※コンサート後には教会音楽科の先生に直接お話もできます。

学窓トピックス

●登録者数

7月18日現在、聖書科54人、教会音楽科23人が登録し、学びに励んでおられます。

●サマー・スクーリング終了

7月1日～2日、恒例のサマー・スクーリングが山崎製パン総合タリエイション・センターで開催されました。東京基督教大学の大和昌平先生が、「日本文化とキリスト教」と題して、90分ずつ5回の講義を行ってくださいました。参加者は24名でした。

●教会音楽デー終了

7月13日、お茶の水クリスチャン・センターにおいて、ベアンテ・ボーマン先生と、るり子夫人をお招きして「リバイバルと賛美」というテーマで行われました。チェコの演奏と共に、賛美の歴史をイラストラル、初代教会から、現代のリバイバル運動まで語ってくださいました。参加者は50名でした。

●模様替え

夏休みを利用して、模様替えが行われました。図書室の充実、教室の利便性、そして学生と先生方への歓迎を表しやすい教師室へとレイアウトを変更してみましたがいかがでしょうか。

具体的には、教室の図書を教師室へ移動し、教師室は図書室としました。この部屋は学生の自習室としても利用できます。教室の書棚は撤去され、テーブルは新しくなって収容人数も増えました。また、今までの自習室は教師室となり、OBIへの人の出入りがガラス越しに教師からよく分かるようになりました。

●秋のコンサート

来る10月19日土曜日、OCC8階チャペルにて、OBI教会音楽科教師による秋のコンサートを開催いたします。詳しくはチラシをご覧ください。皆様のお越しをお待ちしております。

ご献金者名 (五十音順)

(2019年3月29日)

2019年8月25日)

皆様の尊いご献金を心より感謝申し上げます。

阿部正夫	阿久津千枝子	安藤良一	安佛理恵	伊地智恵子	生田今日子	石井由紀	石塚幸子	上野優佳子	奥津晃・榮子	小野沢恵子	尾原光彦	川端聡子	掛飛吉史	甲斐博	神田正吾	柏俣朝子	鬼京由紀子	北城恪太郎・みどり	北川君子	倉沢薫代	國松裕子	小池力夫	小林直子	後藤恵	坂部省二	齊藤とし子	島田英敏	清水明子																
嶋崎岳史	鈴木庸子	砂谷恒夫	杉山礼子	鈴木芳宣	鈴木庸子	関口悦子	高山有美	高橋和子	田村雅志	田中美恵	武田明實	高沢茂雄	東條容子	戸川正子	永澤良子	中島總一郎	中平悦子	芳賀功	日名富子	藤村陽子	藤原導夫・智子	堀肇	堀口容子	丸山幹夫	真鍋雅美	増田慶子	町田恵子	村上宣道	山本しづか	山本潤	山崎龍一	吉村瑠美子	依田和子	米田由起子	吉野俊子	脇坂勇	市川北バプテスト教会	鎌倉海岸キリスト教会	鎌倉海岸キリスト教会	鶴瀬恵みキリスト教会	中山キリスト教会	百合丘バプテスト教会	山崎製パン株式会社	飯島延浩